



# わたしの未来は わたしがつくる

未来の自分は、すぐつくれるものではありません。今日は、これまで歩んできた自分の集大成であり、未来は今この瞬間とこれまで歩んできた過去と繋がっています。  
現在、人々の価値観は多様化し、社会も変化中、自分の幸せを自分でデザインし、獲得するために行動することが必要となっています。

高い目標を掲げて夢を見ましょう  
信念をもって先頭に立ちましょう  
前例がないからと他人があなたを制約しようとしても  
他人には見えない自分を見つけましょう

～米国カマラ・ハリス副大統領候補の子どもたちへのメッセージ 勝利演説から～

### 梓にはまった考え方をしていた自分に気づいた

幼い頃から自分の感情を表に出すことが苦手で、ピアノを弾いている時だけは自由になれる感覚があったという沖澤さん。本格的に音楽の道に進むきっかけはシドニーへ語学研修に行った高校2年の時。それまで梓にはまった考え方がしなかった自分に気づき、本当にやりたいのは音楽しかないと思えるようになり、指揮者への道を志したそうです。

### 青森市の若者へのエール

世界の舞台で活躍するこれまでを「実際の歩みは実に地味なもの。霧の濃い山を登り続けて、あるとき霧が晴れて下を見ると思ったよりも高いところまで登っていた、というような感じです」と沖澤さん。  
指揮をやめようと思ったことは何度もありましたが、「挑戦しては失敗する中でも少しでも手応えがあればそれが自信となり、さらに難しいことに挑戦できるようになる。余計な見栄を捨てて失敗できるようになることが成長の鍵」と沖澤さんは振り返ります。  
音楽活動の中で悩んでいる時、世界的指揮者のリカルド・ムーティ氏が「Be yourself (あなたらしくいなさい)」と励ましてくれた言葉に「自然体で正面からぶつかることで、自分なりの方法が見えてきた」という沖澤さん。自らの経験

# 輝き人

をもとに、青森市の若者たちへエールを送ります。  
「自分はこの程度だろうと決めつけずに、何かに挑戦して欲しい。どんな情報でもすぐに手に入る今の時代こそ、生の体験、生身の人間との対話を通して初めて自分らしさというものが見えるのだと思います。自分の常識が通用しないところに思い切って飛び出してみたり、自分と価値観の違う人たちとたくさん話したりして、どんどん自分の世界を広げてください!」

### 権利は誰にでも平等にあるもの

青森から世界の舞台へ旅立った沖澤さんはドイツに住み始めて5年。日常生活の中で人種や性別による差別を受けて落ち込むことは今でもあると言います。  
「性差別の問題は女性VS男性の構図になりがちなのですが、それぞれが協力し合って初めて男女平等に近づけるのだと思います。権利は誰にでも平等にあるもので、決まった数を男女で取り合うものではない」。  
沖澤さんの次なる挑戦は、アジア人の女性指揮者がイタリアオペラをヨーロッパで振ることはほとんどないとのこと。その壁をはらえる実力を身につけたいとのこと。異国の地での様々な壁にも、自分が進んできたこれまでの歩みを胸に、自分らしく挑戦し続ける沖澤さんです。



©Yves Petit

## 沖澤のどかさん

指揮者 青森市出身。ベルリン在住。  
篠田小学校、沖館中学校、青森東高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。同大学院を経て、ハンズ・アイスラー音楽大学に留学。  
2018年、東京国際音楽コンクール(指揮)で女性初の優勝。2019年には若手指揮者の登竜門としても世界的に知られるプザンソ国際若手指揮者コンクールで優勝。  
日本人女性としては2人目の優勝。  
現在、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者キリル・ペトレンコのアシスタントを務めている。



## アンジュール VIEW

### みなさんは「SOGIハラ」という言葉を知っていますか?

SOGI…(ソジまたはソギと読みます)

Sexual Orientation (性的指向)とGender Identity (性自認)の頭文字から取った言葉。LGBTが「誰」を指すのに対して、SOGIは「好きになる人の性別」、「自身が認識する性別」という「状態」を指しています。こうした性的指向や性自認について、差別的な言動やいやがらせ等を行うことを「SOGIハラ」と言います。

企業の「SOGIハラ」対策が義務に

2019年5月に「ハワハラ防止法(改正労働施策総合推進法)」が成立。12月には、どんな言動がハワハラに当たるかについての国の指針も決まり、今年6月から大企業に、2022年4月から中小企業に義務づけられました。このハワハラ防止対策の中に、SOGIハラ対策も盛り込まれ、本人の了解を得ずに他の労働者に暴露する「アウトティング」も含まれることが明記されました。企業には、社内規定でSOGIハラやアウトティングの禁止や懲戒規定の明文化、相談窓口の設置、研修での周知等が、「措置義務」として求められています。

<発行>  
青森市 市民部 人権男女共同参画課  
〒030-8555 青森市新町1-3-7  
☎017(734)2296 FAX017(734)5765  
<編集スタッフ>  
千代谷直美 (企画集団アティジュール)  
蝦名晶子 (NPO法人あおり男女共同参画をすすめる会)  
齋藤純子 (ライター)  
※転載ご希望の場合はご連絡ください。

アンジュールからのお知らせ **話題の映画を無料上映!** 2021.1.23(土)

### 「RBG 最強の85才」(2018年/アメリカ/98分)

今年9月、アメリカの女性や若者から絶大な支持を得た最高裁判事ルース・ベイダー・ギンズバーグが87歳で他界しました。本作は、弁護士として、また史上2人目の女性の最高裁判事として、女性やマイノリティへの差別をなくすために力を尽くした彼女の素顔や、最愛の夫マーティンとの胸を打つエピソードの数々が綴られた全米大ヒットのドキュメンタリー映画です。

★監督・製作ジュリー・コーエン、ベッツィ・ウエスト

カダールフェスタオープニングで無料上映! 詳しくは男女共同参画プラザ「カダール」へ(☎017-776-8800)



© Cable News Network. All rights reserved.

